

いじめ認知件数5万件以上に対し、加害者の出席停止ゼロ件

学校教育法にはいじめ加害者に出席停止を行う規定があります。千葉県における令和3年度の不登校児童生徒数は小学校で3,583人、中学校で6,368人、高等学校で2,270人と合計1万2,221人。このうち、いじめが原因で不登校となっている子どもも少なくなく、千葉県ではいじめ件数5万件以上あるにも関わらず、出席停止措置を行ったことは1度もない上に、いじめが原因で自殺したと認められた重大事態が1件、調査中1件という状況が水野ゆうきの質問で明らかになりました。

加害者側が学校に通い続け、被害者側が学校から去るという事態が現実として起こっています。被害者、加害者双方に教育を受ける権利がありますが、被害者の学ぶ権利を担保するのは当然のことです。被害者の命を守ることが一番大切なはずです。加害者の出席停止という措置を躊躇することなく運用するよう強く要望しました。

生理用品の無償提供、県立学校から県の公共施設にも展開へ！

千葉県教育委員会では、令和4年1月から全ての県立学校において非対面による生理用品の無償提供を実施しています。一方で初潮の低年齢化も踏まえ、我が国では実際に7人に1人の子どもが貧困状態であることから、小学生や中学生への支援こそが重要です。自分から言い出しがいい、自分で生理用品を購入することが難しい小中学生にこそ、この取り組みを広げていくべきであると考えます。県からは県の公共施設においても生理用品の無償提供を行うべく調整に入るとの大変前向きな答弁を得ることができました。

水野質問 生理用品の無償提供については県立学校のみならず市町村立学校での取り組みが広がっていくことが必要と考えるかどうか。また、県立学校以外の県の公共施設でも生理用品の無償提供を行うべきではないか。

県答弁 市町村に対しては今後の取り組みに役立つよう県立学校における実施状況などを情報提供していくとともに、県の公共施設については、施設のおかれた状況に応じて対応できるよう必要な調整を図る。

手賀沼の外来水生植物対策～補正予算で更に1億950万円可決～



①手賀沼の外来水生植物駆除のお手伝いをしています。

駆除済箇所にて再繁茂されている外来水生植物の対応を！

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイ等の外来水生植物対策については、これまで継続して質疑等で対応を求め、今年度当初予算では手賀沼及び流域河川だけで約2億1千7百万円、印旛沼と合わせると約3億3千万円と大幅増としていただいたものの、いくら駆除しても終わりが見えない状態です。今回の補正予算にて、ナガエツルノゲイトウ特別対策事業として1億950万円を計上していただきましたが、拡大力・再生力が強く、駆除した箇所についても、わずかに残った個体から再生するため、粘り強く、根本から駆除する必要があります。

水野質問 手賀沼において、県が駆除を行った後に再繁茂や漂着が確認された箇所の対策は、どのようにしていくのか。

熊谷知事答弁 県では、流入河川など沼の上流部から駆除を進めることにより、下流域への拡散防止を図っているが、繁殖力が強く、過去に駆除したエリアでの再繁茂が確認されていることなどから、駆除済みエリアも監視し、今年度は手賀沼においては既に7月中旬から開始し、再繁茂や漂着が確認された場合には、その場で直ちに駆除を行うなどの対応をし、早期発見、早期駆除に努めていく。

くまがい知事へ令和6年度予算要望

水野ゆうきが代表を務める会派「千葉政策議員団」は、福祉（保育・医療・介護）、教育、行政改革（DX推進）、経済対策、インフラ整備、防災対策、農林水産業等、合計45項目について、熊谷知事に令和6年度予算要望を行いました。市町村との連携を強化するとともに、知事・県職員は率先して現場へと赴き、机上の政策ではなく、市町村に寄り添った実のある施策の立案と実行を求みました。



水野ゆうきのプロフィール

1983年2月19日生。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学。父の転勤で米国へ移住。米国サンゼルス現地小学校卒業、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入。帰国後は茨城県私立茗渓学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。民間企業に勤務後、2011年我孫子市議会議員選挙最年少当選。2015年、2019年、2023年千葉県議会議員選挙3期連続当選。現在、千葉県議会女性最年少議員。

ブログ

水野ゆうきオフィシャルブログ
「ゆう can change!!」



ホームページ

千葉県議会議員 水野ゆうき
公式ホームページ



Facebook

水野友貴



X (旧・Twitter)

@yuukitten

